

2011(平成23)年6月17日

館外講座だより11



多摩川源流バスツアー第2弾は、東京東端から西端へ、さらに山梨県に出て帰館しました。東京都の水がめである小河内ダム(奥多摩湖)の上流域には、水源を保ち、河川流量を調整する緑のダムである水源涵養林が広がっています。また丹波川渓谷を遡上する青梅街道柳沢峠(1472m)に至る道路は、今なおトンネルの建設が進行中で、土砂災害防止のためのダムも多数みられました。多摩川を知ることによって治山治水の重要性や利根川や荒川流域との相違点、東京低地の独自性を再認識する契機となれば幸いです。

◆多摩川の景観(奥多摩湖)

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。

○S13年~ビデオとても良かった。素晴らしい景観でした。慰霊に祈りささげけきましたよ(5回目)

○ダムの広さにびっくり。昼食をとった所だけかと思っていたのにその奥に長々と続いているとは(初参加)

●小雨模様でしたが景色が大変きれいでした。3匹の野生の猿をみました(初参加)

○深い入江の森閑とした美しさ。でも、静かな湖面の水面の下には・・・(9回目)

●東京の水道の事がよくわかりました(初参加)

○説明を聞いて眺めたので、すごく水の大切さが身にしみました(11回目)

●前は下から見、今回は上から。足がすくむ。150mはすごい(2回目)

●水の少ないのにびっくり。しかし利根川の水をブレンドして東京へ送っていると知り、都民が公平に同質の水を飲んでいるので、金町の水を飲んでる私は安心?しました(3回目)

●昭和32年以来、初めて来ましたが、すっかり変わっていました。大変良かったです(10回目)

●50年振りに訪れたが、昔のままの景色だった。自然の美しさは変わらなかった(5回目)

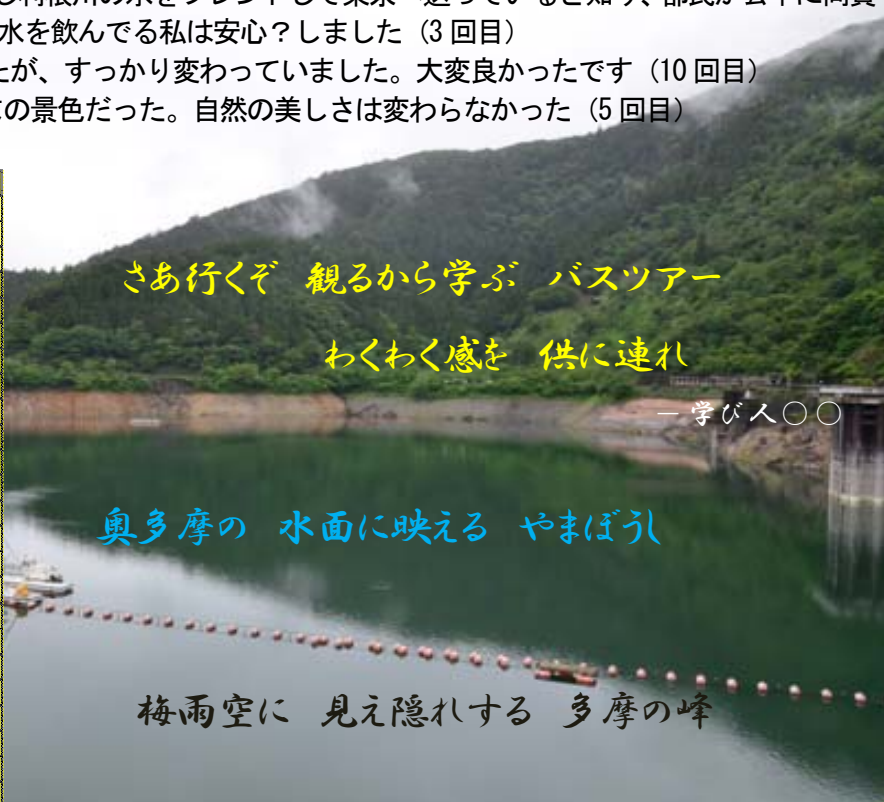


事務係長 並木堅次さんの説明

現在の状況	6月17日
貯水位	83.78 m
貯水量	118786 千m ³
放流量	4.08 m ³ /秒
貯水率	64.1 %

昨年貯水率は86.7%でした!

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
8:20	博物館出発	
8:36	四つ木IC	
9:02	板橋JCT	
9:11	美女木JCT	
9:40	鶴ヶ島JCT	
9:45	狭山PA	15分
10:10	青梅IC	
11:25	小河内貯水池管理事務所	35分
12:00	水と緑のふれあい館	80分
13:45	道の駅たばやま	23分
14:18	尾崎行雄水源踏査記念碑	5分
14:50	柳沢峠	10分
15:30	マンズワイナリー	30分
16:11	勝沼IC	
16:48	八王子JCT	
16:58	石川PA	17分
17:42	西新宿・板橋JCT~四つ木IC	
18:35	博物館到着	
内山観光バス：フェニックス号		
ドライバー：寺嶋達也さん		
走行距離：335 km		
応募51人、当日参加46名(1.05倍)		
参加費2400円うち見学実費0円		



◆丹波山溪谷と尾崎行雄水源踏査記念碑

- とにかくV字型溪谷、いやという程みせられた。とにかく山の中、という感じであった(初参加)
- 源流ツアーにふさわしく、素敵な溪谷美を堪能しました(初参加)
- 尾崎先生の先見の目? のたしかさに礼! を(初参加)
- 陰しい断崖、流れ下る清流、深い淵。一幅の山水画の世界(4回目)
- 明治人のチエの結果、昭和人はその恩恵をうけて、戦後を生きぬいてきた(6回目)
- 記念碑は初めてで、勉強不足でした。三宅坂の憲政記念もかかわっていると(6回目)
- 行けどもいけども、山又山、東端から西端へ、東京もつくづく広いと思いました(2回目)



- 都水道局が水道水源林を管理している事を知らなかったの、おかげで知識が出来てよかった(3回目)
- 黒川金山を眺め乍らの青梅街道、初めて知りました(10回目)
- 山深い中にひとり静かに佇んでいる記念碑、先のことを考えて大きな決断のお陰で今がある。市長さんの英断に感謝です(3回目、ほか多数)

道の駅たばやま付近の丹波川、近くに釣り場もある。

◆柳沢峠越えの道(青梅街道)

- 初めてだったので、その昔この急な山道を歩いた人たちを想像し感慨深かった(初参加、ほか多数)
- 多摩川の源流はあのように細いものかと(初参加)
- 途中の沢すじで鹿の母子をみました。自然が残っていることにまた感動しました。車の往来が少なく快適でした(初参加)



建設中のトンネル。

- もう少し天気がよく、富士山が見れたら・・・(6回目、ほか多数)
- つづら折りの山道も酔わずにすみました(2回目)
- なつかしい22才の頃、九州福岡から一人旅の途中、この峠を車で越えました。落石あり、眼下にガードレールなし、道巾狭く、溪谷に釣り人の姿が今も脳裏に浮かぶ。40年振りの再訪でした(5回目)
- のり面の補修が重要と感じた(3回目)
- 富士山は見えなかったが、角度の強い曲りは圧巻でした(3回目)
- その昔、この峠茶屋には「500円札の富士山のデザインは、ここからの展望です」との宣伝があったのですが、今日はどん曇り(2回目)
- 東京側、甲府盆地への分水嶺が良くわかりました(2回目)
- 予想以上に深い谷間をのぞみ、車内にいても緑にそまりそうであった(2回目)
- 峠を越えて下に街が見えるとほっとした。山の中、峠越え、運転手さん有難う、ご苦労様(初参加)
- 盆地の景色はとってもステキ(2回目)



◆甲府盆地とマンズワイナリー

- わいん愛飲者として嬉しかったです（初参加）
- 最後のおたのしみ？ でもなぜこの土地でぶどうなのか、お話があっても良かったのでは・・・（初参加）
- 山の上から見下ろす甲府盆地、その部分だけがくっきり明るく素晴らしかった（4回目、ほか多数）
- おいしいワインになるには、土壌&地形は重要条件のひとつと納得（4回目）
- 沢山試飲させていただき美味しかったです。赤のメルローがおいしく、一日の疲れがとれました（2回目）
- ウォーキングが少しもの足りなかった（2回目）
- 展示物も見学でき、買物も楽しかった（5回目）
- 扇状形した盆地の形がよく理解できました（3回目、ほか多数）
- 黒川金山（キザン）、武田の金山衆（カヤマシウ）です。日本語はむずかしい！ 私はワイナリーで「武田甲州金山（キザン）」金箔入りをお土産に買いました（2回目）
- 盆地は4月の第2～3週頃、ピンクできれいですよ（2回目）



下戸二人 求めし土産 羊羹か
病あがり 勝沼にては ワイン買い
(お酒は制限されていますが...)



◆その他・自由欄

- バスの到着が遅れてどうなる事かと思いましたが、運転も丁寧で良かったです（2回目）
- 朝の出発の遅延がスケジュールを窮屈にしました。残念です（初参加）
- この間テレビの俳句王国をみた時の選考が選んだ句です。「仮の世の 仮説住宅 鳥渡る」早く復興して普通の生活をさせて上げたいと切に思いました。原発反対です。
- 格安ツアーで参加しやすく、はまっています。感謝しております。雨のバスツアーもおつなものでした。午後は晴れてよかったです。いつも乍ら詳しい説明を受けて亦亦物知りになれました（5回目）
- バスの運転手の運転、上手（3回目）
- いくつかになっても、知的好奇心を忘れ州、地域の派閥み関係無く参加できることが最も有難い。元気に源流の旅に出かけられるようにこれからも健康に気を付けて暮らします（5回目）

ツアー後記

まずはじめに出発の遅れを深くお詫び申し上げます。さらに中央道事故で往路と復路を逆にするという、ツアー24回目にしての初体験。改めて「想定外」はないことを思いました。小河内ダムでは小雨模様でしたが、上流部に進むにつれ天気は回復、深山幽谷を楽しめました。残念ながら柳沢峠から富士山の偉容は眺望できませんでしたが、甲府盆地は見事でした。

東日本大震災から4ヶ月余・・・依然として先行きは不透明です。8月20日（土）に環境学講座「東日本大震災緊急報告会」を開催します。あの震災で起こったことをみなさんとともに一緒に知り、考えましょう。多くの方のご参加をお待ちしています。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 湯沢真実 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>